

目 次

旅行をたのしくする為に	(1)
修学旅行に関する諸注意	(1)
旅行行程及び見学箇所の説明	(4)
旅行団構成一覧	(20)
旅行団名簿	(21)
旅行関係、住所、その他、住所覧	(28)
バス乗車区分	(29)
旅館、部屋割	(29)
列車時刻表	(30)

旅行をたのしくする為に

修学旅行は、その名のごとく遊びや慰安の為の旅行ではなく、あくまでも実際の見学や経験をとおし日常の学習をおし進め見聞を広めるためのものであつて、宿で大きおぎをやつたり、バスの中でいねむりし修学旅行の目的から遠く離れた遊びの旅行になつてはいけません、私たちは限られた学問に修学旅行をとおして豊富な知識を吸収し、正しい集団行動のありかたを学ぶ機会にしなければなりません。そして、級友と一層親しみを増し、健康でたのしい旅の思い出を作つてほしいと思います。

修学旅行に関する諸注意

※ 所持金について

1. 厳重に5000円以内に制限を致します(もし旅行中多く持つていた場合先生が一時預ります)
2. お金はできるだけ分散させて身体につけておくこと(但し自分で分散して忘れていたことを忘れ、ハンカチを出したり、チリ紙を出したりした時になくすことがありますので注意すること、又チリ紙につまんだまゝ、お手洗に流した人もいます)
3. 残留するなどの為特別のお金が必要な場合わあらかじめ残留先に前もつて送金しておくこと、自分で大金を携行しないこと。

※ 乗車及び車中について

1. 乗車の際はじんじよ正しく奥から空席を作らぬようつとめること。
2. みだりに席をはなれないようにすること。

3. 列車の進行中はデツキに立つたり、近寄らないようにすること。
4. 列車の進行中は他の車両に行くことを絶対にやめること。
5. 停車中、駅での買物をする場合列車の窓からして下車しないこと。
6. 進行中、列車の窓から体を乗り出すことのないようにする（手も出さないこと）
7. 窓から物をすてないこと（袋を用意すると便利）
8. 停車中のお手洗を使用しないこと（トンネルの中も同じ）
9. 乗降の際に荷物お体の前面に持つておくと便利です（自分の体の幅より大きいものはもつてこないこと）
10. バスに弱い人はなるべく前に又窓際の席をとること。
11. バスにのり降りる際、よく左右を見てから降りること（飛出して他の車にハネられた事故が一番多い）
12. よくガイドさん及び運転手の注意を守ること。

※ 見学の態度

1. 案内者の説明をよく聞き理解すること。
2. 観光地の風物をたいせつにし、禁止札にあることわ絶対にしないこと。
3. 見学についてはまともな行動すること。
4. 交通道徳をよくまもり事故防止に注意すること。
5. 時間をよく守り敏速に行動すること。

※ その他

1. お八つはどこでも入手出来るから始めから多く持たないこと。
 2. 荷物は必ず一つにまとめて片手でさげられるように両手にぶらさげぬこと。
 3. カメラはかねて自分で十分使いなれている人だけ携行すること。旅先でフィルム交換や使用法の手つだいをしてもらうのは、団体行動をみだすもとゝなり絶対にやめること。特に先生方や末永さんにそのようなことは絶対に依頼せぬ事。又団体をはなれて数人で撮影の為おくれ統制をみださぬよう心掛けてください。
- ◎ カメラはかねて使用しない人が携行すると事故発生の原因になるし又貴重品ですから余計な心配を必要とします。

4. 携帯品の中の貴重品は不要な時は必ず宿の帳場にあづけましょう。

※ 面会、外泊、残留について

1. 京都では19.00から、21.00まで外出を許可します。
2. 東京では 3月13日 日光より宿に着到後外泊、外出を許可します。外出者の門限は22.00
3月14日 外出は宿で9.00—10.00までに引渡をします。多泊、外出者共に歌舞伎座前16.00集合。
3. 東京に残留を希望した人の引渡しは品川駅で10.00までにします。

